

みずほCustomer Desk Report 2022/03/31号 (As of 2022/03/30)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	122.56
TKY 9:00AM	123.11	1.1092	136.38	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	123.20	1.1171	136.65	1.3091	0.7514
SYD-NY Low	121.32	1.1088	134.90	1.3181	0.7536
NY 5:00 PM	121.84	1.1158	135.93	1.3091	0.7503
				1.3136	0.7510
NY DOW	35,228.81	▲ 65.38	日本2年債	-0.0400	▲ 1.00bp
NASDAQ	14,442.28	▲ 177.36	日本10年債	0.2100	▲ 4.00bp
S&P	4,602.45	▲ 29.15	米国2年債	2.3113	▲ 5.94bp
日経平均	28,027.25	▲ 225.17	米国5年債	2.4408	▲ 6.01bp
TOPIX	1,967.60	▲ 24.06	米国10年債	2.3561	▲ 4.10bp
シカゴ日経先物	27,805.00	▲ 575.00	独10年債	0.6565	1.95bp
ロンドンFT	7,578.75	41.50	英10年債	1.6625	1.55bp
DAX	14,606.05	▲ 214.28	豪10年債	2.7890	▲ 10.00bp
ハンセン指数	22,232.03	304.40	USDJPY 1M Vol	9.58	▲ 0.18%
上海総合	3,266.60	62.66	USDJPY 3M Vol	8.73	▲ 0.18%
NY金	1,939.00	21.00	USDJPY 6M Vol	8.43	▲ 0.15%
WTI	107.82	3.58	USDJPY 1M 25RR	-0.15	Yen Call Over
CRB指数	301.316	6.62	EURJPY 3M Vol	9.74	▲ 0.09%
ドルインデックス	97.79	▲ 0.61	EURJPY 6M Vol	9.55	▲ 0.13%

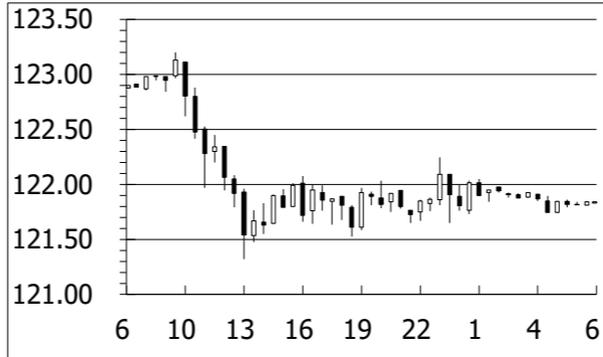
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月30日	10:30	米 ポスティック・アトランタ連銀総裁	「年6回利上げ支持もペースは経済次第」	
	18:00	欧 鉱工業/サービス業信頼感指数	3月 10.4/14.4	8.9/10.0
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	3月 2.5%/7.3%	1.6%/6.2%
	21:15	米 ADP雇用統計	3月 455k	450k
	21:30	米 GDP(年率/前期比)・確報	4Q 6.9%	7.0%
	21:30	米 個人消費/コアPCE・確報	4Q 2.5%/5.0%	3.1%/5.0%
3月31日	02:00	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁	「5月の50bp利上げは経済次第」	
		米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁	「利上げ支持も明確な幅の言及せず」	

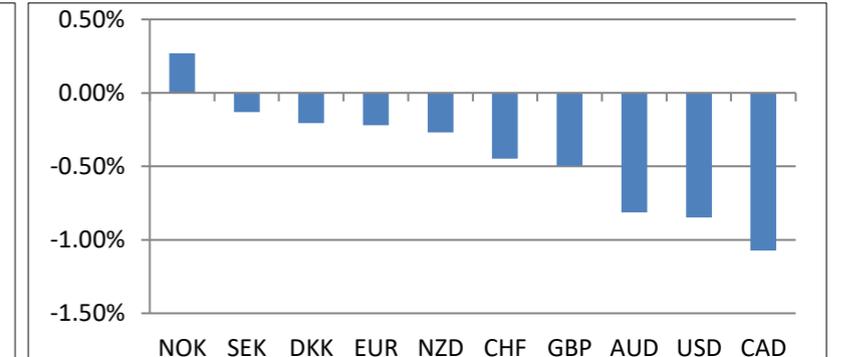
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月31日	10:30	中 製造業PMI/非製造業PMI	3月 49.8/50.3	50.2/51.6
	15:00	独 小売売上高(前月比)	2月 0.5%	1.4%
	17:00	欧 レーン・ECB理事 講演	-	-
	21:30	米 個人所得/支出	2月 0.5%/0.5%	0%/2.1%
	21:30	米 PCEデフレ(前月比/前年比)	2月 0.6%/6.4%	0.6%/6.1%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	26-Mar 196k	187k
	22:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	121.50-123.50	1.114-1.118	135.30-137.30

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は123.11でオープン後、軟調な展開となった。米長期金利が低下する中、期末絡みの実需フローも重なりドル売り・円買いが進んだ。正午過ぎに黒田日銀総裁が首相官邸で岸田首相と会談したと伝わると、政府・日銀が協調して円安に対応するとの思惑からさらに円が買われ、一時121.32まで下落した。ただ、その後の黒田総裁の発言から円安牽制スタンスは見られず、再びドル高/円安基調となった。海外時間では、米3月ADP雇用統計が予想を上回ったものの、反応は限定的で、その後も方向感を欠き、121.84でクローズした。本日のドル円は堅調な推移を予想する。昨日、日銀は予定していた指値オペの買入れ額を増額し、予定外の超長期ゾーンも拡充した。円安を牽制しなかったことも併せて、日米金融政策の違いによる日米金利差拡大が改めて意識され、ドルのサポート材料となる。本日のウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁の講演でドル買い圧力が強まるかに注目したい。また、本日は年度末であること、明日の米2月雇用統計を控えていることから持ち高を大きく傾けにくいものと思われる。

東京	東京時間のドル円は123.11レベルでオープン。実需の売りフローによりドル円は円高基調となり、正午過ぎに黒田日銀総裁が首相官邸入りしたとの報道に、円安けん制への警戒感からドル円は一時121.32まで下落。その後は黒田日銀総裁の発言から特段円安けん制の内容がないことが確認されるとドル円はやや値を戻し、結局121.74レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は121.74レベルでオープンし、新規材料に欠けるなか、小動き。約50銭のレンジで横ばいし、121.75レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は、121.75レベルでNYオープン。朝方は米3月ADP雇用統計が予想を若干上回ったものの、ドル円の反応は限定的となり、続いて発表の米第四半期GDP(確報値)が、構成指数の個人消費が予想を下回ったことから予想を下回ったがこちらも為替市場の反応は限定的となった。その後一旦クロス円の買いが強まり122.24まで戻すものの、米金利低下を受けたドル売りが持ち込まれ、121.65まで下落する。午後はカシュカリ・ミネアポリス連銀総裁が、「イールドカーブ」は政策の道筋が中立と比較してどこにあるかについての有益なフィードバックを与えている」と話し、その後もジョージ・カンザスシティ連銀総裁が「いくらでどれ位アグレッシブに措置を解除するかが不透明」と話したものの、ドル円の反応は限定的となり、121.90付近での推移が続き、121.84レベルでクローズした。一方、ユーロは海外市場でドル売りが優勢となり、1.1150の短期的なレジスタンスを抜け、1.1161まで上昇し、1.1139レベルでNYオープン。朝方は独3月CPI前年比が予想を上回ったが、結果を受けたユーロの反応は限定的となるが、徐々にドル買いが強まり1.1112まで下落する。その後は米金利低下を背景にしたドル売りにユーロは1.1171まで戻す。午後は狭いレンジでの推移が続き、1.1158レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・松木